	 江業高等	 亩胆学校	開講年度	平成30年度 (2	)010年度)	- 担	業科目	青報伝送工	 <del>&gt;</del>	
		<del>等门于</del> 仅		十成30千度(2	2010平皮)	1又:	未作日  1	月刊[[[]]	<del>f</del>	
<u>付口垄员</u> 科目番号	K I F F IX	0026			科目区分	科目区分 専門 / 選抜		1		
授業形態		講義				位数	<u> </u>			
開設学科情報工学分野			 分野	F)		-1328	5			
開設期後期					対象学年 週時間数		2			
教科書/教材 授業毎にこ			プリントを配布	プリントを配布						
担当教員		未定(帽	f報),大槻 典行							
到達目標	票									
			調、周波数変調、位 :目標とする。	対相変調とデジタル	変調の基本原理及	及びケース	ブルの基本特	特性に関する数	式の意味を理解し、	
ルーブリ	ノック				_			_		
				理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1				線形システムの伝達関数を求める   き簡単な網		号のフーリエ変換がで ジシステムの伝達関数 ≤ができる。		標準的な信号のフーリエ変換ができず簡単な線形システムの伝達関数を求めることができない。		
評価項目2				特性に関する数式 基礎的な問題に	ケーブルの基本特性に関する数式 を使い、基礎的な問題を解くこと ができる。				本特性に関する数式的な問題を解くこと	
評価項目3			各変・復調方式の の原理を解説で	の特徴を説明しそ きる。	各変調方式の違いを説明しその基 本原理を解説できる。			各変調方式の 基本原理も解	)違いを説明できず、 説できない。	
学科の至	到達目標項	目との関	係							
学習・教育 JABEE d-	育到達度目標 -1	Ę C								
教育方法	去等									
概要		一人などの	は高度情報化社会シ 情報化社会における ブルの特性について	5情報伝送システム(	の基本技術である	5信号の変	5調・復調σ	D原理とADSIも	TVを始め、ADSLモデ や光ファイバーなどの	
受業の進&	 め方・方法	IDCI	2700719 ETC 2010	JAK CHIVA INTA		2/3 (2   3 )	, <b>0 C</b> C C/4	00 (111		
注意点		本授業に するため と。理解	必要な知識は微分積 、非常に重要であり を深めるため、 合語	受分、フーリエ級数、 )、不明点がある場合 計約6回の演習レオ	、フーリエ変換と 合、必ず、これま ポートを宿題とし	と三角関数 まで勉強し 、て与えら	めをを いた数学の教 れる。	5る。これらの 対科書や参考書	知識は本授業を理解 を復習し勉強するこ	
授業計画	<b></b>					1				
後期			授業内容				週ごとの到達目標			
		1週	ガイダンス、シラバス、通信の仕組み			通信の仕組みの基礎を理解できる。				
	3rdQ	2週	フーリエ級数とフーリエ変換の数学の基礎			フーリエ級数とフーリエ変換の数学の基礎を理解できる。				
		3週	線形システムの応答と伝達関数			線形システムの応答と伝達関数を理解できる。				
		4週	型 倒対ケーブルの伝送特性			平衡対ケーブルの伝送特性を理解し、減衰定数の計算ができる。				
			ピファイバケーブルの伝送の基礎と特性			光ファイバケーブルの伝送の基礎と特性を理解できる。				
		6週	DSB-SC 振幅変調の		DSB-SC 振幅変調の基礎を理解できる。					
		7週	同期検波による振幅	基礎	同期検波による振幅変調信号の復調の基礎を理解できる。 る。					
1 <del>× 7/</del> ]			後期中間試験			60%以上理解できる。				
			基本角度変調の基礎(1)			基本角度変調の基礎を理解できる。				
			基本角度変調の基礎(2)			基本角度変調の基礎を理解できる。				
			角度変調方式の周波数スペクトル特性(1) 角度変調方式の周波数スペクトル特性(2)			角度変調方式の周波数スペクトル特性を理解できる。 角度変調方式の周波数スペクトル特性を理解できる。				
	4thQ		角度変調方式の周波数スペクトル特性(2)   角度変調方式における所要伝送周波数帯域(カーソンの法則)				角度変調方式の周波数スペクトル特性を理解できる。   角度変調方式における所要伝送周波数帯域(カーソン   の法則)を理解できる。			
	4010	13週	の法則)	) 创闭安山处间拟数	帯域(カーソン					
	401Q	13週		プログログロル女	帯域(カーソン 	の法則)	を理解で	きる。	間波数帯域(カーソン	
	401Q	13週	の法則) デジタル変調(1) デジタル変調(2)	) 切用安位应问//(放	帯域(カーソン  	の法則) ASK,PS	を理解でる SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎(		
	Hully	14週	デジタル変調(1)	) 切开安山心间水数	帯域(カーソン	の法則) ASK,PS	を理解でる SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎(	記波数帯域(カーソン について理解できる。	
 モデルニ		14週 15週 16週	デジタル変調(1)		帯域 (カーソン	の法則) ASK,PS	を理解でる SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎(	記波数帯域(カーソン について理解できる。	
		14週 15週 16週	デジタル変調(1) デジタル変調(2) 学習内容と到達			の法則) ASK,PS	を理解でる SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎( M 変調の基礎(	記波数帯域(カーソン について理解できる。	
分類	コアカリキ	14週 15週 16週 ニュラムの	デジタル変調(1) デジタル変調(2) 学習内容と到達	目標		の法則) ASK,PS	を理解でる SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎( M 変調の基礎(	別波数帯域(カーソン について理解できる。 について理解できる。	
分類	コアカリキ	14週 15週 16週 -ユラムの 分野	デジタル変調(1) デジタル変調(2) 学習内容と到達	目標		の法則) ASK,PS ASK,PS	を理解でる SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎( M 変調の基礎(	別波数帯域(カーソン について理解できる。 について理解できる。	
分類 評価割合	コアカリキ	14週 15週 16週 -ユラムの 分野	デジタル変調(1) デジタル変調(2) 学習内容と到達 学習内容	:目標 学習内容の到達目相	西示	の法則) ASK,PS ASK,PS	を理解で SK,FSK,QA SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎 M 変調の基礎 型道	別波数帯域 (カーソン について理解できる。 について理解できる。 をといいて理解できる。 をといい 授業週	
分類 <b>評価割</b> 合 総合評価割	コアカリキ 合 試験 割合 10	14週 15週 16週 -ユラムの 分野	デジタル変調(1) デジタル変調(2) 学習内容と到達 学習内容	:目標 学習内容の到達目相 相互評価	票態度	の法則 ASK,PS ASK,PS	を理解で SK,FSK,QA SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎 M 変調の基礎 到近 その他	別波数帯域 (カーソン について理解できる。 について理解できる。 室レベル 授業週 合計	
モデルニ 分類 評価割合 総合評価割 基礎的能力 専門的能力	コアカリキ 合 割合 100	14週 15週 16週 -ユラムの 分野 検	デジタル変調(1) デジタル変調(2) 学習内容と到達 学習内容	:目標 学習内容の到達目標 相互評価 0	態度	の法則 ASK,PS ASK,PS ポート 0	を理解で SK,FSK,QA SK,FSK,QA	きる。 M 変調の基礎 M 変調の基礎 到近 その他 0	記数帯域 (カーソン   について理解できる。   について理解できる。   をレベル   授業週   合計   100	